

新春放談

癒しの街・長久手

加藤町長・文化事業を語る



【癒しの街作り・文化事業】

フレンズの皆さんあけましておめでとございます。今年では来年の市制を目指し、移行準備のための重要な年です。単に市制に移行するだけでなく魅力ある街作りを考えています。

長久手には他に類を見ない魅力的な特徴が多くあります。そのひとつとして「文化の家」を中心とした文化事業の柱を持っていることです。私は「文化の家」の建設当初から関わってきた者の一人として多くの方々からこの事業が高い評価をいただ

いていることを誇りに思っています。市制移行後も若い人から年配の方まで、皆さんに幅広く利用していただき、中身も充実したものにしたいと思います。

「文化の家」はすでに12年目に入っていますが、文化事業は公だけが前面に出てうまくは行きません。住民の方との協働が重要です。

また、地元にも県立芸術大学があり、文化・芸術面で協力し合えることは長久手町の強みのひとつです。同時に文化事業を牽引するには高い見識を持った方のお力も重要です。「文化の家」に川上館長を迎えられたのも町にとっては幸運でした。

【協働して癒しの街作り】

町民の意見が直接反映される住民参加を大切にしたいと考えます。

フレンズのスタッフ活動はそのお手本のようなものです。「文化の家」では芝居や落語、オーケストラやオペラなど演目も幅広く行っていますが、公の運営だけではできないわけで、フレンズスタッフの皆さんのお力があった成功です。

フレンズのスタッフ活動は「文化の家」の活動を支える一方の大きな柱でもあります。多くの方の評価は来客への応対が大きなウエイトを占めます。十周年を記念して作成さ



機関紙スタッフの質問に答える加藤町長

れた「シアター・マネジメント・マニュアル」を拝見すれば、単なるボランティアの域を超えた接遇活動だと思えます。創立当初から共に歩んできたフレンズの協力なくして今の成功はなかったと思います。

おかげで「文化の家」は全国的にも認知度が上がっています。NHKやCBCなどの公共放送機関からの関心も引いています。昨年末に収録された「CBC演歌競演」の恒例化なども良い例ですね。

(2ページに続く)



和やかな語り口で長久手町の「癒しの街作り」を語る加藤町長

【癒しの街の公共交通機関】

「文化の家」は他の都市からも放送事業体からも高い評価を得ております。街歩きの楽しさのためにも「はなみずき通駅」から「文化の家」までの街路も歩いて楽しい道にしたい。例えば期間が限定されますがイルミネーションに力を入れているのもそのひとつの例ですね。

リニモは全9駅のうち6駅が長久手町にあります。これを軸にNバスをからめて町民の足を確保したいと考えています。多くの町民の方々に街中を気楽に歩いて欲しいと思っています。「文化の家」の駐車場の広さには制約があり、なるべく公共交通機関をご利用いただけるとありがたいと思っています。

町民はもちろん、町外の方々向けにも「愛・地球博記念公園」（モリコロパーク）には新しい施設も整い、古戦場公園や郷土資料室、長久手温泉・ござらつせ、名都美術館にトヨタ博物館など見所満載です。おしゃれな店から落ち着きのある食事処などの紹介をして一日乗車券を使って若い人向けの「長久手町ラブラブ・デートコース」や年配者向けの「お散歩コース」などを広げていきたいと活動を推進しています。特に高齢者の方には歩くことは健康にも良いので、医療費削減のためにもご本人のためにも街歩きの楽しんで欲しいですね。

【長久手の魅力・自然との調和】

長久手は都会的な雰囲気と農村の原風景でもある牧歌的な自然が共生する街でもあります。この立地条件を生かし地産地消の「あぐりん村」や「ござらつせ」とあわせ町民や他の町からの訪問者のご満足をお願いしております。長久手に行けばいつも新しいものが見られる：そんな街にしたいですね。

町にとつても子供は宝です。大事に育てたい。温室育ちではないです。子供たちは自然と触れ合う必要があります。「平成こども塾」や「放課後子ども教室」なども長久手は都会と農村の2つの顔を併せ持つ町だからできるのです。

これからも長久手らしさを出していくためには文化活動も伸ばしていきたいと考えています。「文化の家」を支える大きな柱の一つとしてフレンズさんと協働して進めていきたいので本年もよろしくお願いいたします。

【編集者後記：新春を迎え、加藤町長のお話】

は「文化の家」の活動から、住民参加の町作り、町民への思いまでと、多方面にわたってお約束の倍以上のお時間を割いていただいたの取材となった。

失礼ながら、お歳に似合わぬ情熱に思わず聞き入ってしまった。

楽しく、美しく、癒しの長久手市の誕生が今から楽しみです。



あけまして

おめでと〜う〜いざいます

フレンズ会長 水野美々子

新年あけましておめでと〜う〜ございます。今年度もフレンズの企画（夏のコンサート、冬のクリスマスパーティー）は楽しんでいただけただでしょうか。

節目の10年もあつという間に過ぎ、気持ちも新たに早くも12年目を迎え、スタッフ一同の意気込みもきつと感じていただけたと存じます。みなさまには、いつもフレンズを支え、かわいがっていただき本当に嬉しく思っています。また会の運営につきまして、少しでも入会・更新などの手続きが円滑に行えるように引き続き取り組んでいきたいと思っています。

これからも「フレンズ」を、みなさまと一緒に育てていけたらと願いながら、素敵な笑顔に出会えることを楽しみに文化の家でお待ちしています。次回の「フレンズのつどい」も着々と企画が進んでいて必ず楽しんでいただけるかと確信しています。ぜひお越しください。

最後になりましたが、フレンズの理解者であり、いつも温かい言葉をかけてくださる川上館長が昨年に「瑞宝中綬章」を受勲されました。さすがが館長と、誇らしく大変嬉しく思います。紙面をお借りしてお祝い申し上げます。



10月20日…フレンズ研修会で愛知県陶磁資料館をご案内いただいた際の川上館長と参加スタッフ



「いつも明るく・楽しく・ほがらかに」をモットーとして…



フランスのつどいPart. 22

クリスマスコンサート & ティーパーティー

～箏の音色でクリスマス～

★ 和と洋の絶妙な
コラボレーションに酔いました ★



平成21年12月5日午後2時、文化の家舞踊室でフランスのつどい Part. 22 クリスマスコンサート&ティーパーティー『箏の音色でクリスマス』が開催されました。

今回は名古屋を中心に箏(そう)の演奏活動をし、フルート、ハープなど洋楽器との共演も多く、現代感覚の演奏スタイルを得意とされる三輪知之さんと、おもに東海地方でソロ、室内楽などの演奏活動をし、愛・地球博にも出演されたフルート奏者石垣雅美さんとの共演が実現し

「箏とフルート」異色のコラボレーションに聴き入る参加者



ました。

ジャンルを超えたコラボレーションに期待が高まるなか、第一部のコンサートが始まり「清き水玉の調べ」「夜の歌」、そして昔懐かしい「荒城の月」と進み会場全体が澄んだ音色、美しい旋律で包まれて行きました。

「箏」は一曲ごとに調弦が必要で、その時間を使って軽妙洒落なお話があり、演奏だけでなくウィットのあるトークも会場を盛り上げました。

三輪さんは「雅楽で用いられ

た箏は「から」のマッチ箱のような構造に13本の弦を張り、指にはめた爪(ピック)で弦を弾いて音を出します。主な流派は二つあり、生田流は角爪を用い斜めに構え、山田流は丸爪を用い正面に構えて演奏するなどの違いが見られます」と興味深い話があり、石垣さんからは「金属でできているのに木管楽器…」とフルートをユーモラスに紹介し「愛・地球博」の舞台では木製のフルートに挑戦したエピソードも披露されました。

後半はフルートのソロ演奏で始まり、「湖上の雨」「萌春」、最後は奥深く響く「泉」を聴き盛大な拍手のなかコンサートが終了しました。

ティーパーティーで 楽しい交流会

第二部のクリスマスパーティーは水野フレンズ会長のあいさつ、文化の家川上館長の乾杯で始まりました。

出演者お二人とともに、軽食の並ぶテーブルを囲んで懇談、参加者の皆さんは笑顔で十分に楽しんでおられる様子。

初めて参加された若い方は「パーティーまであるなんて、びっくりしました。コンサートは箏がハープでフルートが尺八のようにも聴こえました。なかなか良かったです」と笑顔で話してくれました。

和やかに交流も進んだところでお楽しみ抽選会が行われ、当選者にはポイントセチアの鉢が贈られ、会場は番号が呼ばれるたびに盛り上がりました。

最後に『きよしこの夜』などを全員で歌い、楽しいパーティーを終えました。



文化の家川上館長の発声による乾杯で第二部がスタート

会場
で
いただいた声から

♪ Q コンサートはいかがでしたか
『荒城の月』は戦争中の涙

とともにある思い出の曲ですが、海外で聴いたピアノとバイオリンの演奏、昨年の錦織健さんの歌、そして今日の箏とフルートの演奏、ベストスリーになりました。心に残る演奏有難うございました。

♪ 生演奏は初めて。清らかな気持ちになりました。

♪ 身近で箏を弾くのが見られて良かったです。

♪ Q 交流会はいかがでしたか
クリスマスとお正月が一緒に来たようで楽しかったです。

♪ 初めての参加ですが、食べ物まで用意されていて驚きました。今日の雨もかえってしっとりとした

雰囲気
で演奏が聴け
感激
しました。



手塚治虫 生誕80周年記念

ミュージカル 出演：わらび座

火の鳥 鳳凰編

1月17日(日)
14:30開場 15:00開演

文化の家 森のホール 全指定席

前売	フレンズ	3,000円	一般	3,500円
	高校生以下	前売り・当日とも	1,500円	
当日	フレンズ・一般	4,000円		

※ 未就学児の入場不可

長久手町文化の家 名演への招待シリーズ9

オーボエ奏者の最高峰

ハイツ・ホリガーと仲間たち ～スイス・チェンバー・ソロイスト

2月11日(木・祝)
15:30開場 16:00開演

文化の家 森のホール 全指定席

前売	フレンズ	3,500円	一般	4,000円
	学生	2,000円		
当日	フレンズ・一般	4,500円	学生	2,500円

※ 未就学児の入場不可

初笑い ながくて寄席

2月14日(日) 13:30開場 14:00開演

文化の家 森のホール 全指定席

入船亭扇橋	柳家喬木郎
入船亭扇辰	入船亭遊一

前売	フレンズ	2,500円	一般	3,000円
当日	フレンズ・一般	3,500円		

※ 未就学児の入場不可

編集者コラム

家で片付けをしていたら、セピア色の古新聞に目にとまった。1990年(平成2年)5月19日。一面には「両ドイツ、国家条約に調印」の見出し。番組表には「クイズダービー」「まんが日本昔ばなし」や、今も放映している「世界・ふしぎ発見」など…懐かしさでいっぱい。私も知らないうちにタイムスリップ。

思い出にひたる中、20年の月日の重さを感じたひとときでした。

(さ)

長久手町文化の家 1月・2月の
おもな 催し物を紹介します

詳細は 文化の家が発行する公演案内の
チラシなどをご参照ください

劇王 VII

※ 今年のゲスト審査員

青井陽治(演出家・劇作家・翻訳家)
マキノノゾミ(劇作家・演出家・俳優)
西山水木(演出家・女優)
安住恭子(演劇評論家)

2月6日(土) Aプロ 14:00 Bプロ 18:30 開演
2月7日(日) 決勝巴戦 14:30 開演

文化の家 風のホール 全自由席

1公演券	フレンズ	1,200円	(前売のみ)
	一般	1,500円	
3公演通し券	フレンズ・一般	3,000円	

※ 未就学児の入場不可

年を重ねた今だから

長久手在住 渡辺和代

ほっと
すぺーす

年齢を重ねると、若い頃のように気負うことなく、やりたい事を淡々と、喜びをもってやれるので、おとなのバレエは本当にいいな・・・と思っています。

定年退職が約6カ月と迫った時期に、子供の頃に夢見たバレエを思い出してバレエ教室を見学したら、記憶がはじけてしまいました。

今では週5回のバレエ・レッスンは私にとっては、宝物のような時間になっています。

最初の頃は週一回、1教室から始めたのですが、知識と筋力の必要性を感じ、バレエの「いろは」から教えてくれる教室を探し求めているうちに数が

増え、4か所の教室に通う結果になってしまいました。

長久手町文化の家の「大人のクラシックバレエ」教室は初心者を対象にした基礎クラスがあり、3月には発表会もあります。受け入れてくれて、このレベルで発表会に出られるなんて、他の教室では望めません。現在、次回の発表会に向けて励んでいます。

夢はいつまでも続けること。ケガの無い様に細心の注意をしながらのレッスン、「きれいな動き」を身につければ、なんだか「心まで美しく」なるような気になります。

定年退職後にこんな世界があったなんて、想像できませんでした。